自分がその中に入るとは思いませんでした。河上監督は「実力だけではなく、努力している人も入れる」と日頃から言っていましたが、その中に自分が入って嬉しかったです。しかし、神宮大会ではメンバーから外れ、春の甲子園では必ずベンチ入りたいと思い、日々、練習を積み重ねました。

▽2年生の春、甲子園の夢が実現

東出村長　2年生春の甲子園（対戦相手は光星学院）では、背番号14番をつけ、9回でセカンドを守り、2回きた打球を処理していましたが、その時の気持ちはどうでしたか？

五十嵐さん　甲子園のグランドに立つことができて、心がワクワクしました。

東出村長　その後は、ベンチ入りだけではなく、一桁の番号をもらってレギュラーにという目標になりましたか？

五十嵐さん　はい。レギュラーになり、必ず甲子園に戻ってきて、「勝ち上がっていくぞ」という新たな目標になりました。しかし、2年生の夏は残念ながら甲子園には行けませんでした。

東出村長　2年生秋の全道大会では見事優勝し、その後、神宮大会に出場していますね。神宮グランドは人口芝だったと思いますが、何か対策や特別な練習などはしていましたか？

五十嵐さん　はい。人口芝だと打球が早くなり、神宮での朝の試合は、露でグランドはウェット状態でさらに早くなるので、その対策は、札幌ドームで練習しました。

▽北照高校野球部3年間を振り返って

東出村長　3年間、セカンドを守り、2年生秋の全道大会で優勝し、神宮大会では2つ勝ち、3年生春の甲子園では準々決勝まで勝ち進みましたね。その時、北照高校に入って、満足度・充実感があった時期だったのではないでしょうか？

五十嵐さん　あの時は、とても嬉しかったのですが、それよりも、甲子園で勝ち上がりたいという気持ちが強かったです。

東出村長　3回の甲子園出場を通して、何か自分の中での変化は感じましたか？

五十嵐さん　はい。野球に対する考え方が試合を重ねるたびに変わってきました。技術だけではなく、日々、河上監督から指導されていました人間力も大切だと感じました。

東出村長　高校3年間の北照高校での野球生活を振り返るとどうでしたか？

五十嵐さん　はい。名門北照高校のレギュラーを獲得し、甲子園に出場することができました。自分の夢が実現したので、正解だったと思います。

　また、農作業で忙しい時でもお父さん・お母さんが送り迎えをしてくれたり、行事があれば頻繁に顔を出してくれたりしたお陰で、周りの人にお世話になりながら、甲子園に3回も行くことができました。お父さん・お母さんには、本当に感謝しています。

▽五十嵐さんの抱負

東出村長　高校卒業後、五十嵐君は東京の大学に進学すると聞いていますが、今後の抱負または今年の目標は？

五十嵐さん　はい。進学する大学の野球部は、全国からレベルの高い選手が集まり、厳しい争いになると思います。まずはベンチ入り、そして、レギュラーを獲得し、一歩ずつ進んで目標を実現していきたいと思います。

▽五十嵐さん、子ども達にメッセージ

東出村長　最後に村の子ども達に何かメッセージはありませんか？

五十嵐さん　甲子園は夢の舞台で、簡単にはいけませんが、夢を実現し、甲子園でのプレーは、私にとって一生の思い出です。皆さんもそれぞれの夢や目標を持っていると思いますが、努力を重ねて、夢や目標に向かって辛い練習に耐えて頑張ってください。

東出村長　自分で掲げた目標を達成することはとても素晴らしいと思います。村の子ども達も五十嵐君の影響を受け、甲子園を目指している人もいます。昨年は本当に良い活躍をしてくれました。東都大学野球リーグは、レベルが高く、目標を達成することは大変だと思いますが、北照高校野球部で培った忍耐力や人間力、そして、今まで学んできたことを活かして頑張ってください。今日はありがとうございました。

▽新春対談を終えて東出村長の抱負

　今回、五十嵐君との対談を通して、村の子ども達の夢が実現できる環境づくりの大切さを改めて認識しました。そのためには、村民の皆さんが活力に溢れ安心して暮らせるよう、現在、策定作業を進めている新篠津村まちづくり総合計画後期基本計画をしっかりと策定し、スタートさせたいと考えています。

　そして、私が掲げている3つ柱「少子化対策の継続と充実」、「災害に強いまちづくり」、「農業の基盤整備の推進」を着実に推進し、基幹産業が農業の村なので、今年も豊作の秋が迎えられることができればと思っています。この1年が村民の皆さんにとって、健康で明るい年になりますよう心から祈念を申し上げます。

北照高校野球部監督
河上敬也さんよりメッセージ

五十嵐くんは地味でしたが、コツコツ努力をしてレギュラーを獲得しました。大学にいっても努力を忘れないで頑張ってください。

甲子園を目指して頑張っている村の子ども達の皆さん、練習は裏切りません。コツコツと努力して頑張ってください。